

ネイティブ微生物コレステロールエステラーゼ

Cat. No. DIA-135

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名はステリルエステルアシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

用途 この酵素は、臨床分析においてコレステロールオキシダーゼと結合することで、総コレステロールの酵素的測定に役立ちます。

別名 コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラーゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリパーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

製品情報

由来 微生物

外形 淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号 EC 3.1.1.13

CAS登録番号 9026-00-0

活性 グレードIII 5.0U/mg-固体以上

混入物 カタラーゼ $1.0 \times 10^{-2}\%$

pH安定性 pH 5.5-10.0 (25°C, 20時間)

最適pH 6

熱安定性 40°C未満 (pH 7.0、15分)

最適温度 40°C

ミカエリス定数 $5.7 \times 10^{-5}\text{M}$ (リノレート)、 $7.2 \times 10^{-5}\text{M}$ (オレート)

阻害剤 Hg^{++} 、 Cu^{++}

安定化剤 Mg^{++} 、牛血清アルブミン

保管・発送情報

安定性 -20°Cで保管してください